

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	日中は入居者みなさんが、リビングのテーブルの決められた席にずっと座っていることが多い。	畳のフリースペースの活用や、リビング以外での自由に思い思いに過ごせる居場所を作る。 理念の「みんなのお家」感が出るような暖かく寛げるような空間つくりにする。	和室に上がるためには大きな段差があった為、手すりつきの階段を設置した。畳にカーペットを敷き、机とテーブルを設置し、食堂しての空間を作った。 リビングにはソファを3つと椅子を置き、テレビを囲み団欒の空間を作った。 和室やリビング・EVホール等、思い思いの場所で過ごしてもらえるように、支援を行うようになっていく。	2ヶ月
2	40	食事の際には入居者様はみなさんリビングのテーブルに座り、食事が運ばれてくるのを待っている状態である。 職員と入所者様との協働での家事作業が行われていない。	部分的にでもホーム内で調理を行い、音や臭いを感じながら楽しみに繋げていきたい。 入居者様と職員が自然な感じで共に食事を食べるような雰囲気つくりを行っていく。	ご飯だけでもフロアで炊けるように炊飯器を用意してもらった。入居者様とのコミュニケーションの中で、みんなに役割意識を待ってもらえるように進めていきたい。	3ヶ月
3	49	入居者それぞれの希望する場所や希望する時に外出支援を行えていない。 散歩へ行く順番やメンバー等のことで口論になることがある。	入所者様それぞれのニーズに合わせた外出支援を行っていききたい。 いつも全員を対象とするのではなく、個々のニーズに合わせて支援していく。	外出が好きな人には可能な時には積極的に声掛けを行っていく。 リハビリや通院時でも少し回り道を試みたり、花壇の花に触れてみたりと、細やかな心遣いし、季節を感じてもらったり、気分転換を図れるように支援していききたい。 家族様にも今まで以上に協力の声掛けを行ったり、普段から知り得た本人の希望等を伝え、実現の協力を得られるように取り組む。	3ヶ月
4	23 26	職員が何でもしてくれると思っている入居者が多い。 ケアプランでも個別性・具体性が低い。	入所者一人ひとりの趣味・嗜好を把握するよう努め、日常の支援方法やケアプランに繋げていけるようにする。全職員で情報の交換・共有を行い、気付きをたくさんもてるように日々関わっていく。	職員それぞれが感じている、入居者様それぞれの性格や嗜好についてケア会議で再検討し、アセスメントを行う。 日々の中で入居者様からの意見や要望・希望の言葉を聞き逃さずに書き留めていき、実現に向けて取り組んでいく。	5ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。